

1. 2025年度事業運営計画:不確実性を増す国際情勢におけるJBIC

- 第5期中期経営計画策定時(2024年6月)から一層世界の不確実性が増大していることを踏まえつつ、JBICは2025年度事業運営計画を策定。
- 本事業計画のもと、引き続き、我が国産業のサプライチェーン強靱化などの経済安全保障に資する取り組みや、各国のニーズを個別に捉え、日本企業の強み・技術を活かし、課題解決・案件実現につながるよう取り組む。また、カーボンニュートラル・社会課題解決等を実現していく上で技術的ブレークスルー等も必要になる中、スタートアップ向け支援や新たな技術・事業の促進を含めて、リスクテイクや多国間連携等、JBICとしての独自の立ち位置・機能を活かして実施。

第5期中期経営計画:重点取組課題と取組目標

I. 持続可能な未来の実現

- ・ カーボンニュートラルと経済発展の統合的実現への貢献
- ・ ホスト国との協働による社会課題解決への貢献
- ・ サステナビリティ経営の責任ある実行(定性)

2024年度
実績

29件

»»

2025年度
目標

38件

11件

»»

21件

II. 我が国産業の強靱化と創造的変革の支援

- ・ 我が国のエネルギー安全保障の確保、国益に資する戦略的なバリューチェーン / サプライチェーン強靱化および先端的産業基盤整備への支援
- ・ 革新的技術・事業の展開支援
- ・ グローバルに活躍する中堅・中小企業の海外展開支援

2024年度
実績

36件

»»

2025年度
目標

30件

11件

»»

14件

59件

»»

61件

III. 戦略的な国際金融機能の発揮による独自のソリューション提供

- ・ 我が国の対外経済政策の構築・実現に貢献する案件への支援
- ・ 戦略的な情報分析を通じた独自のソリューションの提供(定性)

2024年度
実績

17件

»»

2025年度
目標

31件

IV. 価値創造に向けた組織基盤の強化・改革

2024年度実績(定性)

- ・ 人的資本経営の実践:人材戦略の策定に向け職員ヒアリングを進捗。オンデマンド形式の外部教育コンテンツの導入、研修プログラムの拡充。
- ・ DXによる業務効率化・業務推進基盤の整備:意思決定プロセスの簡素化、既存文書電子化、生成AIツール導入に向けトライアルを継続。
- ・ エンゲージメントの高い組織づくり・組織の基盤強化と安定・効率的運営: AZEC関連会議等の政府関連会合で関係省庁と連携。初の統合報告書の発行による対外発信を強化。